

# TJM4002 アスレチックロール



☆屋内施工用

製品標準施工要領・メンテナンス手順

改定日：2025年1月16日

製品に関するお問い合わせ

製品お問い合わせ窓口へ  
お問い合わせください。

コンシューマ事業部

**0791-62-0088**

土日祝日を除く 10:00~18:00

**KLASS株式会社**

〒679-4195兵庫県たつの市龍野町日飼190

# 事前準備

## 1. 運搬と保管について

- (1) 敷設工事は、すべてのロールの運搬が終わるまで始めないでください。
- (2) ロールは梱包により、圧縮された状態にあります。  
施工作业開始の少なくとも 24 時間前には梱包から取り出し、ストレスから解放してください。
- (3) 施工前に製品をご確認いただき、万一不具合がある場合、速やかにご連絡下さい。施工後の製品不良は対応出来かねます。
- (4) 荷姿は以下のいずれかとなります。**1 パレット約 240kg～960kg の重量物になりますので、荷卸し時にはフォークリフトが必須**です。

### 1-2 巻の場合：横積み

【1 巻につき 1 パレット必要】



### 3 巻～4 巻の場合：縦積み



## 2. 下地の条件

- (1) 通常、モルタル金コテ仕上げの下地上に敷設します。
- (2) 木質下地の場合、下張り合板 (12～15mm 厚) の 2 重構造でなければなりません。
- (3) コンクリート下地の場合、表面強度が十分にあり、乾燥していなければなりません。
- (4) 施工下地は、乾燥し、きれいで、滑らか且つ水平な状態に仕上げてください。
- (5) モルタルかす、ホコリ、ペンキ、油類などが付着していないことを確認してください。
- (6) 改修の場合、古い下地に残る接着剤等は、完全に取り除いてください。  
※上記(4)～(6)は、ジョイント部の隙間・段差の原因となります。
- (7) 施工現場の最適温度は 18℃～35℃とし、5℃以下の場合接着不良になる可能性があります。

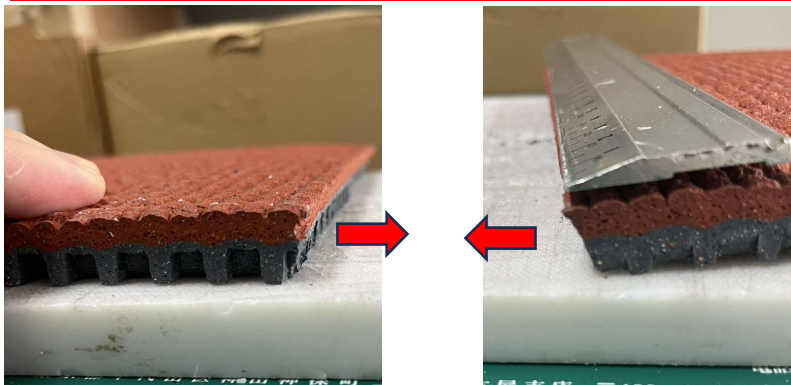
# 施工手順

## 1. 割付・墨出し・仮敷き・カット

- (1) 割付図に従って墨線を引き、敷設範囲を決め、接着作業 24 時間前には仮敷きをしてください。
- (ア) ロールには敷設方向があります。曲線部のある陸上トラックを施工する場合は、仮敷き時から反時計方向に敷き詰めてください。直線の場合、一定方向に敷き詰めてください(走る方向が決まっている場合は、スター地点から)。
- (イ) ロール同士の継ぎ目が 5mm 重なるように仮敷きしてください。
- (ウ) 仮敷きで、ある程度の巻き癖は取れますが、特にひどい箇所は、切断が必要になる場合があります。また、出隅や入隅など、施工現場にあわせてカットしてください。
- (2) カットについて
- (ア) **短手方向：重ね切りはしないでください。** 押された状態で重ね切りをした場合、カット後に短くなってしまいます。一度隙間ができてしまうと戻らないため、ご注意ください。
- カットの際は、**5mm 程長めにカットし、ゴム同士で押し合うようにして隙間を埋めます。**

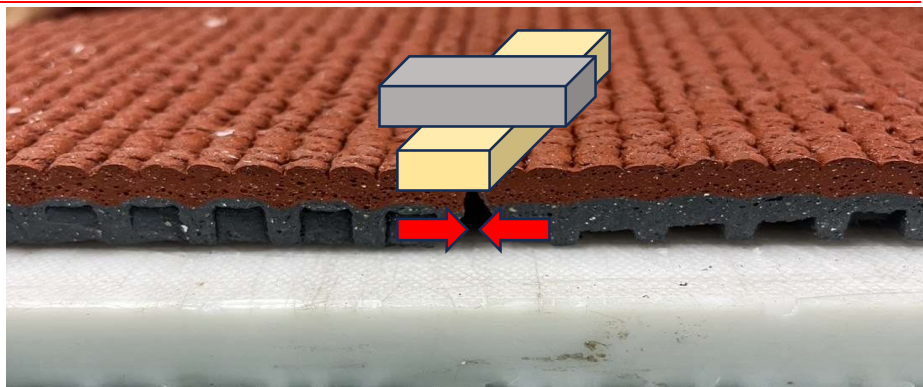


- (イ) **断面は垂直ではなく、カッターナイフの刃を斜めにして約 10°の傾斜を作ってください。**



ジョイント部は、5mm程重ね合わせて、双方から押しあうようにし、隙間が生じないように押し込んで接着してください。ジョイント部分に重石を置いて、接着剤硬化まで固定します。

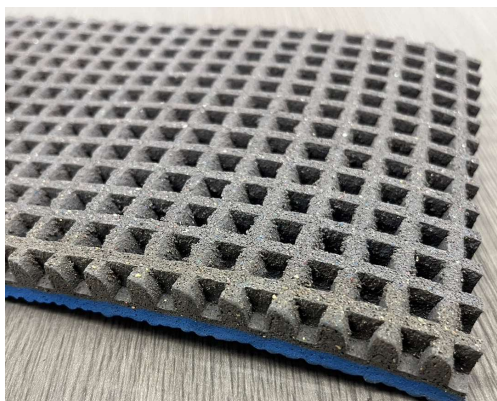
**※ゴムの特性から、オーバーラップさせ押し合っても、納まる空隙が製品にはあります。**



(ウ) **長手方向**：カットは必要ありません。ジョイント部は短手同様 5 mm程重ね合わせて、双方から押し合うようにし、隙間がないよう押し込んで接着してください。ジョイント部分に重石を置いて、接着剤硬化まで固定します。

## 2. 接着施工

(1) 接着剤は、専用の一液性ポリウレタン接着剤（ルビロン R、トーヨーポリマー社製）を推奨します。使用量は、約 1kg/mが目安です。裏面がワッフル形状のため、一般内装床材よりも多めに必要とします。



(2) クシ目小手にて接着剤を広げ、オープンタイム※経過後、ロール敷設を完了してください。

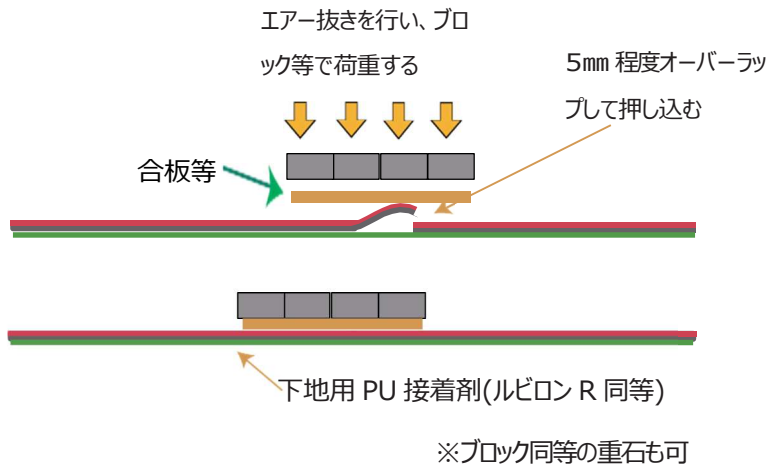
【※夏：5～20分、春・秋：10～20分、冬(5～10℃)：20～30分】

冬季の場合も、室温が 5℃以下にはならないようにしてください。

(3) 接着方法

- ①幅方向 1,050mm（200mm 残して）の下地面に接着剤を塗布してください。オープンタイム経過後にロールを敷設し、転圧してエア抜きを行います。
- ②次に、残していた 200mmと次のロールの 1,050mm に接着剤を塗布し、仮敷きでオーバーラップさせていた 5 mmを押し込んで一定方向に転圧し、空気溜まりができないようにエア抜きを行ってください。
- ③短手方向のジョイント部分は、下層（グレー色）をナナメ 10°にカットし、5 mmオーバーラップさせて押し込んでください。接着完了までは、ブロック等で荷重してください。
- ④接着剤硬化までには、夏季(18 時間以上)、冬季(24 時間以上)の時間を要します。

## 短手方向シートのジョイント接着法 ( 屋内 )



### 注意

- 短手方向のジョイントは、下層下方向 (10°) にカットし、5mm 程度重ね合わせてシート表面の隙間が空かないようにしてください。
- 短手方向のシートジョイントは、長手方向ジョイントよりも多くオーバーラップして押し込みます。  
( 接着剤が硬化するまでのシートの収縮とジョイントの隙間を防ぐため ) シートが浮き上がらないようにブロックの数を増やして接着剤が硬化するまで荷重してください。
- シート下側の空気ダマリが無いようにエア抜きをしてください。
- ★ ● 冬季は、接着剤の硬化に2 日程度必要となる場合があります。夜間の気温の低下に伴い、シートが収縮し、接着部ジョイントの隙間が空く可能性が有ります。ブロック等の重石でジョイント部シートが動かないようにしてください。

## 長手方向シートのジョイント接着法 ( 屋内 )

